

## 速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会 開催要綱

### 1 目的

消費全般の動向を、マクロ、ミクロの両面で捉える、速報性を備えた包括的な消費関連指標の在り方について検討することを目的として、「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」を開催する。

### 2 検討内容

- (1) 新指標の作成方法、体系化の在り方
- (2) 単身モニター調査、パネルデータ、供給側データ、ビッグデータの変動分析、バイアス補正及び合算方法
- (3) 家計調査、家計消費状況調査の推計及び合算方法、公表の一体化

### 3 構成及び運営

- (1) 本研究会は、総務大臣の懇談会として開催する。
- (2) 本研究会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 本研究会に、総務大臣があらかじめ指名する座長を置く。
- (4) 座長は、必要があると認めるときは、座長代理を指名することができる。
- (5) 座長は、必要に応じて構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (6) 座長は、本研究会の議題に応じ、必要があるときは、必要と認める者をオブザーバーとすることができる。
- (7) その他、本研究会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

### 4 議事等の公開

- (1) 本研究会及び使用した資料については、非公開とすることが必要と座長が認める場合を除き公開する。
- (2) 本研究会の終了後、速やかに議事要旨を作成し、公開する。

### 5 事務局

本研究会の庶務は、総務省統計局統計調査部消費統計課において処理する。

(別 紙)

速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会構成員

(敬称略・五十音順)

	飯塚 信夫	神奈川大学経済学部教授
	岩村 有広	一般社団法人日本経済団体連合会経済政策本部長
	小塩 隆士	一橋大学経済研究所教授
	久我 尚子	株式会社ニッセイ基礎研究所主任研究員
◎	国友 直人	明治大学政治経済学部特任教授
	熊谷 亮丸	株式会社大和総研調査本部副本部長・チーフエコノミスト
	河野 康子	一般社団法人全国消費者団体連絡会事務局長
	新家 義貴	株式会社第一生命経済研究所主席エコノミスト
	末澤 豪謙	SMBC 日興証券株式会社金融財政アナリスト
	菅 幹雄	法政大学経済学部教授
	関口 博之	日本放送協会解説主幹
	永井 暁子	日本女子大学人間社会学部准教授
	平嶋 彰英	総務省参与
	美添 泰人	青山学院大学経営学部プロジェクト教授
	渡辺 努	東京大学大学院経済学研究科教授

◎は座長

※このほか、関係省庁等もオブザーバーとして参加する予定